西丹沢・白石沢モロクボ沢

平成２３年９月１１日（日）
L 白土、釼持、柳下
記録：釼持

泳げる釜があり、癒し系できれいなところだというモロクボ沢へ行ってきた。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

下山予定の西丹沢自然教室に折り畳み自転車をデポし、その先に続く林道の終点（ゲート前）に車を停め、沢支度をして歩き始める。林道を 15 分くらいで左の橋を渡るとキャンプ場跡地がある。その中を突っ切り、適当なところから入渓。

ゴーロを 20 分くらいで 30m大滝が登場。とても大きくて圧巻だ。登るのは難しいので左の巻き道へ。ぼろぼろの急斜面を直登してから右へトラバース。トラバースで一箇所怖いところがあり、補助ロープを出してもらう。沢床へ下りるとそこはきれいなナメ。なるほど、癒し系だ。

ピタピタと進むと、すぐに釜つき斜瀑５ｍ。すかさず白土さんが泳いで滝へ取り付く。楽しそうな様子。私も真似してみるが、さっきまで晴れていたのに曇ってしまったこともあって、寒い。おなかまで浸かっただけで精一杯で、比較的浅い釜の縁からまわって滝を登ろうとすると、滝の上から水流・釜の様子を確認している白土さん、まさかと思ったら、奇声をあげながらただ一人、ウォータースライダー。最高に楽しそう。釜が深く、落ちたあとに泳がないといけないので私は遠慮･･･。寒いので。

ここは連瀑帯で、釜を持つ小さな滝が３つ続く。３つ目の釜でようやく私も苦手な泳ぎに挑戦。やってみるとなかなか進まず、動揺し始めたところで水が鼻に入ってしまい、焦って溺れかけた。が、なんとか助けを借りずに済んだ。５ｍ程度泳いだだけで全身ぐったりしてしまった。やはり本格的な泳ぎの練習が必要･･･。

次の石積堰堤を越えたところで休憩。柳下さんは「二人とも泳いだりして元気ですね」と若干あきれ顔。楽しいのはこの石積堰堤までで、その後はゴーロが続く。コケがきれいだけど、飽きてしまった。この先も見どころは無さそうなので、全員一致で源頭まで行かずに枝沢を上がってしまおうということになった。善六のタワという稜線に出る、標高 900m 付近の枝沢へ入ってみると、花崗岩のナメ床で、ただのガレ沢だろうと思っていただけに「それなりに」良い。最後に崩れやすいザレを登りきり、植林帯へ入った。登山道よりも東寄りに登ってしまい、コンパスで方向を確認しながら、危なっかしい斜面を下ったり登ったりして登山道へ出た。本流の遡行よりも詰めが難しかった。

登山道を下る途中、本棚沢の大滝を見物した。このころになると、日差しが照りつけてとても暑かったので大滝のし

ぶきが気持ちよかった。西丹沢自然教室には 14 時前に到着し、白土さんが自転車で車の回収をしてくれた。河原で沢靴などの泥を落とし、西丹沢を後にした。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

モロクボ沢の見どころは前半の石積堰堤までの連瀑帯だろう。数えきれないほど滝があるのかと勝手に思っていたら、思いの他すぐに終わってしまった。こんなことなら、もうちょっと泳いだりすればよかった。

車から１時間ほどで泳ぎスポットに到着するので、暑い日に泳ぐ目的で入るにはとても手頃だと思う。釜で泳いだ後は、沢下降するのもよさそうだ。30mの大滝はあるけど、巻き道もあったので何とかなりそう。私は、そもそも服を着てザックを背負って泳ぐことにまだ慣れていないので、また水泳の練習に訪れたい。

7：30　ゲート
8：45　連瀑帯
11：20　登山道
13：45　西丹沢自然教室

【きれいな釜を泳ぐ】

【水と戯れる白土さん】